

## 安全データシート

作成日：2002年7月16日

改訂日：2024年4月1日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	アサヒビンドHA
供給者の会社名称	アサヒボンド工業株式会社
住所	東京都板橋区大谷口北町3-7
担当部門	営業部
電話番号	(03)3972-4929
FAX 番号	(03)3972-4583
緊急連絡電話番号	(03)3972-4929
推奨用途及び使用上の制限	防水シートの接着に限る。
整理番号	11051

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない

危険有害性の分類で「区分に該当しない」、「分類できない」は項目を省略する。

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起	危険
危険有害性情報	(H318)重篤な眼の損傷

## 注意書き

## 【安全対策】

(P280)保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 【応急措置】

(P305+P351+P338)眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。

(P310)直ちに医師に連絡すること。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	単一物の水溶液		
化学名又は一般名	珪酸リチウム水溶液		
危険有害成分	濃度(重量%)	CAS 番号	官報公示整理番号
珪酸リチウム	45~55	12627-14-4	(1)-770
水	45~50	3372-18-5	天然物扱い

#### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類や靴などはすべて脱ぐこと。アルカリ性の製品なので、付着した部分は石けんを使用しないで微温湯又は水を流しながら皮膚の刺激やぬるぬるする感じが無くなるまで洗い続ける。皮膚に異常があれば医師の診断を受ける。
眼に入った場合	清浄な水で最低15分以上洗眼し、直ちに医師の診断を受ける。 洗眼の際は、まぶたを指でよくひらいて、眼球やまぶたの隅々まで水がよく行きわたるよう洗淨する。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗淨する。多量の水を飲ませて可能であれば吐き出させる。 直ちに医師の診断を受ける。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	本製品は不燃性である。周辺火災に適応した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火の際は必ず保護衣を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域とし隔離する。関係者以外は近づけない。
保護具及び緊急時措置	皮膚に付着しないよう、眼に入らないように保護具を着用する。適切な保護衣を着けていない時は破損した容器或いは漏洩物に触れてはいけない。
環境に対する注意事項	できるだけ回収する。その後は多量の水で洗い流す。この場合pH6～8の範囲で洗い流し、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、ウェス等で拭き取る。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室、或いは狭い場所への流入を防ぐ。

#### 7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	眼や皮膚および衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	漏れ、あふれ、飛散しないようにする。容器を転倒や落下させたり、衝撃を加えたり又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。 濃厚な酸類を加えてはならない。 使用済の空容器は一定の場所を定めて集積する。 環境への放出を避けること。
接触回避	眼や皮膚および衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。
衛生対策	取扱い後は、顔等をよく洗い、うがい手洗いをする。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管	
安全な保管条件	酸性物質から離して保管する。 直射日光を避け、冷暗所に貯蔵する。密閉して空気中の二酸化炭素との接触を避ける。
安全な容器包装材料	表ステンレス容器或いはポリ容器に保管する。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	設定なし
設備対策	取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	ゴム製等
眼、顔面の保護具	保護眼鏡又は安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	長袖保護服、保護長靴、前掛け
特別な注意事項	取扱い後は顔等をよく洗い、うがいすること。 汚染した衣類を再使用する場合は洗濯すること。

#### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態、色	無色透明液体
臭い	無臭
融点/凝固点	融点；0℃以下
沸点又は初留点及び沸騰範囲	約100℃
可燃性	なし
引火点	引火性なし
自然発火点	発火性なし
分解温度	データなし
pH	11前後
動粘性率	データなし
溶解性	水に任意に溶解する。
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	水として3.1kPa(25℃)
密度及び/又は相対密度	1.1~1.2(25℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	酸性物質、成分の水はイソシアネート基(-NCO)その化合物と反応する。
化学的安定性	密閉状態では安定性であるが、長時間の空気との接触で変質する。
危険有害性反応可能性	フッ化水素酸とは激しく反応し、フッ化ケイ素ガスを発生する。 アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属とは接触させない。 濃厚な酸を加えてはならない。密閉し空気との接触を避ける。
避けるべき条件	凍結するとゲル化して元に戻らなくなる。

混合危険物質	フッ化水素酸、酸類、アルカリとの混触。 アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属。	
危険有害な分解性生物	データなし	
1 1. 有害性情報		
急性毒性		
経口	区分に外当しない。 珪酸リチウム	ラット LD50 2500mg/kg
経皮	区分に外当しない。 類似物質(珪酸カリウム)の結果から区分に該当しないとされる。	
吸入	区分に外当しない。 類似物質の結果から区分に該当しないとされる。	
皮膚腐食性/刺激性	区分に外当しない。 但し、アルカリ性を示し、皮膚や粘膜に弱い刺激作用を示す恐れのため取扱いには注意 をすること。	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	安全性考慮で区分 1 珪酸リチウム	ウサギによる急性眼刺激性/腐食性(OECD TG405); 区分 1
呼吸器感作性	データなし	
皮膚感作性	類似物質の結果から区分に外当しない。	
生殖細胞変異原性	区分に外当しない。 珪酸リチウム	Ames 試験(OECD TG471); 陰性
発がん性	発がん性を有するとの報告はない。	
生殖毒性	類似物質の結果から区分に外当しない。	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分に外当しない。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	類似物質の結果から区分に外当しない。	
誤えん有害性	データなし	

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性		
水生環境有害性 短期(急性)	区分に外当しない。 27.5%珪酸リチウム	急性毒性(魚類) 96h-LC50 >100mg/L(グッピー) 急性毒性(甲殻類) 48h-EC50 >800mg/L(オミジノコ)
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし	
残留性・分解性	データなし	
生態蓄積性	データなし	
土壌中の移動性	データなし	
オゾン層への有害性	分類できない 成分はモントリオール議定書の付属書にリストされていない。	

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	水で希釈後、塩酸や硫酸等で中和し、沈殿物はろ過分離する。
-------	------------------------------

廃棄の際は、「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」等の関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

#### 汚染容器および包装

関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

#### 1 4. 輸送上の注意

国連番号	非該当
国連分類	非該当
海洋汚染物質	非該当
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非該当
航空輸送	非該当
特別な安全対策	輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れ、転倒が無いように積み込み荷崩れ防止を確実に行うこと。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

#### 1 5. 適用法令

消防法	非該当
化審法	既存化学物質リストへの収載
化学物質管理促進法（PRTR 法）	非該当
毒物劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当

#### 1 6. その他の情報

##### 主な引用文献

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| 1) JIS Z 7253(2019)   | 日本規格協会  |
| 2) 日本化学工業協会「緊急時対応措置指針 |         |
| 3) 原料メーカー発行の安全データシート  | 各原料メーカー |

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質危険・有害性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり特な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上ご利用下さい。